

金子秀子*選

一般の部「自由に四季を詠んだ作品」◎入選

仔牛眠る豊かな寝藁大晦

一望の野やとんぼうの無音界

竹落葉望み新たにバスを待つ

名月や老いの坂道明るうす

振り返りつつ草笛の遠ざかる

月読のひかり治し敗荷

今生の一句いつの日吾亦紅

能因の歌に秋思の深まりぬ

階の青葉しづくや閑の址

枯葉鳴る音にまぎれて言えぬこと

革鞆馴染みてきたり夏に入る

見るたびにほほ笑む翁あたたかし

夕鐘よ向日葵畑の風に乗れ

かはほりやいつか人住む月の面

銀漢やメビウスの輪に回遊魚

鶉篝や絶えず流るる水と人

一山に滝を懸けたり藤の花

露天風呂裸体を包む虫の声

とつぶりと暮れみちのくの大刈田

ひとつまたひとつ母は栗を剥く

佇みておとめ桜や小峰城

投網打つ那須岳ひとつ捕る如く

深々と閑跡をゆく秋の音

一般の部「白河を詠んだ作品」◎入選

埼玉県さいたま市 増田信雄

白河市岡部赤崩山

白河市小林富子

白河市佐藤和子

桑折町大田元一

千葉県八千代市大久保文夫

会津若松市新井田美佐子

兵庫県神戸市平松凜心

白河市田村玲子

埼玉県小川町寺澤弘忠

白河市高橋淳子

白河市高橋一恵

白河市高橋也有子

白河市高橋一光

白河市高橋堯子

白河市高橋玲子

白河市高橋淳子

白河市高橋仁

白河市高橋広仁

白河市高橋瑞雲

白河市高橋ふみる

白河市佐藤和子

白河市佐藤光徳

矢吹町藤田光徳

一般の部「白河を詠んだ作品」◎入選

家菴の南湖団子や月臘

連覇なる白河越への夏の陣

白河の空木に寄せる旅ごころ

樂翁の眼差し憂ふ遠しぐれ

かなかなや落暉に染まる小峰成

秋空と小峰城置く水溜り

関山の尾根に人見る鳴日和

下萌や十万石の城の址

音立てて雪解水落つ駿舎かな

露ひとつ芭蕉の句碑を流れけり

幾山河越えて南湖へ鳥渡る

門火焚く白河口のいくさ跡

青田風南湖を渡り閑山へ

秋澄むやまなざし清き樂翁像

汗の手のぶつかつて行く祭かな

天守閣しづかに動き天の川

紫陽花の萼まだ白く谷津田川

白河市遠藤優子

白河市印田弘司

矢吹町丹内マリエ

矢吹町丹内マリエ